

大阪・関西万博（2025年日本国際博覧会）の成功に向けた 取組みの推進について

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界は未曾有の危機に見舞われ、経済も大きなダメージを受けた。加えて、気候変動や食糧問題、急速な高齢化など、様々な課題に直面している。

こうした中開催される大阪・関西万博（2025年日本国際博覧会）は、150か国・25国際機関の出展参加、内外から2820万人の来訪者を目標とし、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマが設定されている。まさに「いのちを守り・育む」という人類共通の課題解決に向け、世界の英知を集め、新たな時代を先導するイノベーションを創造・発信する場として大きな意義を持つ。また、ポストコロナのわが国の成長をけん引し、持続的な発展へと導く一大国家プロジェクトである。

万博を成功に導くためには、オールジャパン体制を構築し、一過性のイベントに終わらせることなく、有形・無形のレガシーを創出し、次の時代に確実に引き継いでいくことが重要である。

そのためには、日本各地が強みをもつ「知」と「技術」を結集し、世界の課題解決に向けて真摯に向き合い、果敢に挑戦していかなければならない。新たな価値観や社会変革をもたらす技術やサービスを生み出し、Society5.0や2050年カーボンニュートラルの実現など、我が国が先頭に立ってSDGsの達成に貢献していく必要がある。

あわせて、万博を機に、日本各地の最先端の技術、多様で特色ある文化芸術、四季折々の豊かな自然など、地域の魅力にさらに磨きをかけ、地方創生を加速させていくことが必要である。

万博をインパクトに日本全体で特色ある取組みを推進し、わが国の持続的な成長・発展につなげるとともに、ポストコロナにおける未来への希望を示し、世界とともに「いのち輝く未来社会」を創り上げていかなければならない。

これらを着実に実現していくためには、都道府県が一致団結して、オールジャパン体制の中核としての役割を果たしていく必要がある。このため全国知事会は、国民各位、関係者の皆様に万博の成功に向けた御協力をお願いするとともに、今後、政府や開催者である日本国際博覧会協会と緊密に連携し、万博の成功、ひいては日本全体の持続的な成長に向けた取組みを推し進めていくことを決議するものである。

令和3年11月26日
全国知事会